



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1985

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長テーマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

「ロータリー親睦活動月間」

2010年6月10日 第1961回例会

◆ 会長時間 ◆

中田副会長



地区ガバナー会より「口蹄疫被害救援支援」への支援金協力をお願いが来ております。口蹄疫の被害につきましては皆様もすでにご存知の事と思います。

当クラブも支援金への協力をしたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

地区の締切りが6月15日(火)と言う事で、当クラブも臨時理事会を開催し、募金協力することとなりました。

当クラブでは地区の要請もあり、最低目標を5万円としましたので、不足がありましたらスマイル会計より充当することとなりました。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

● 会務報告

森信幹事

※地区を経由してガバナー会より宮崎県口蹄疫被害救援支援依頼がありました。例会前の臨時理事会で承認されましたので、本日例会中に募金箱をまわします。お気持ちのほどをご協力頂ければ幸いです。(2710地区事務所で取り纏め、2730地区へ送金されます)

● 委員会報告

出席報告 竹本委員

本 日 (6月10日・木曜日)

会員数	86名	出席者	70名	
欠席者	16名	ご来客	4名	
ご来賓	0名	ゲスト	1名	
			計	75名

前々回(5月27日・木曜日)

出席率 100%



※ 職業奉仕委員会 諏訪昭浩委員長

職業情報更新の原稿依頼について

※ 会報雑誌・広報委員会 藤原会員

ロータリーの友誌紹介

※ 次年度金本幹事

例会終了後、4階「松の間」において次年度第6回理事会を開催いたしますので、次年度理事会メンバーは出席願います。

※ S A A 委員会

本日は100万ドルの食事です。

※ 次年度加藤委員長

2010-11年度 会報雑誌・広報委員会 アンケート 結果

5月27日開催(出席者数73名 うち回答者数66名 未回答者数21名)

- ①紙での配布を希望 17名
- ②ネット・メールで配信 49名

①の方の意見

- ・後日繰り返して読みたい時に紙の方が探すのに便利
- ・プリントする手間が掛からない
- ・あまりメールは見ないから
- ・例会場にプリンターを置きセルフでプリントする
- ・資料として残しておきたいから
- ・例会場や帰途にも見る事が出来、便利
- ・例会時にももらえると必ず見るがメールやHPでは見ないかも
- ・自分でインターネットが見られないから
- ・会報の必要性を考え、コスト面のみでの判断であれば廃止すれば良い
- ・会報の本来の意義を考えるとコスト面だけの判断で良いのか

②の方の意見

- ・文字を読みやすい大きさにして欲しい
- ・例会に欠席してもHPで会報が見られるのは便利
- ・各地の委員会活動を知るうえでのリンクや有用な他クラブをリンクし紹介する
- ・他クラブの会報はこれまで通り頂きたい
- ・ネット閲覧も可能だが、しばらくは紙出力が良いのでは
- ・委員会負担を少なくする工夫をして欲しい
- ・紙ベースのデザインにこだわらず必要な情報が載っていれば充分
- ・内容の質は落とさないで欲しい
- ・HPでは見ないのでメールが良い
- ・あまり手を掛けずにA-4で1枚程度のシンプルな会報で良いのでは
- ・現在の会報は質・量ともに必要にして十分と思う

●その他会報に関するご意見

- ・デジタルで受取、出来るだけマニュアル化してはめ込む作業くらいに出来れば良い
- ・会員の家族の話題など、アットホームな記事

があればよい

- ・地区の主要会議、並びにクラブの行事などの報告があると良い
- ・次月の卓話予定を記載希望

祝 連続出席100% (3名)

長谷川君(32年) 宮崎君(13年)
木本君(5年)

連続出席5年 木本 弘三 会員に記念品贈呈



🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。(6名)

河本君(6日) 笹野君(6日)
小橋君(8日) 新原君(12日)
末岡君(22日) 香川(浩)君(30日)

●スマイルボックス SAA 前橋委員

😊長谷川君 (自主申告)

6月3日に、ホールインワンのお祝いを紫友会から3万円いただきましたが、スマイルボックスへ寄付したいと思います。(トリプル大枚)

😊川原先生、沖君、武田君、池田君、前橋君 (自主申告)

西陶会では5月16日、圭斎窯にて例会を行いました。

本日はその際に、川原先生の指導と補助を頂きながら、製作しました作品を展示しておりますので、是非ご覧下さい。

😊坂田君・児玉君・三島君

先日、行われました広島市防火連絡協議会の22年度総会で3名の方の事業所、『うお久』『児玉病院』『ミスズガーデン』の防火管理者が優良との事で表彰されました。

今後とも防火に関する研修や訓練をしていただき自主防災意識を高めるようにお願いします。

☺ 鮫島君

6月8日経済レポートによりますと、ANAクラウンプラザホテル広島では、恒例のスカイビアレストランを始めとあります。

バーベキューセット『サンセットプラン』は韓国式焼肉プレートを使い自分で焼くスタイル。ビール、焼酎、カクテル等、飲み放題で4,500円。またこのセットが4,000円になる早割チケットも販売中。どうぞ皆さんこの機会に早割チケットをお買い求め下さい、とのこと。

● 第12回理事会議事録

と き 2010年6月3日(木)13:45～15:25

ところ ANAクラウンプラザホテル広島
4F「松の間」

・ 合同幹事会報告

G6, 7 合同 I M 剰余金は登録人員割一人610円を6月本会計に返金する。

14R C ゴルフ決算報告。チャリティ募金は各R C 一律12,000円づつロータリー財団に振り込む。

マツダスタジアム寄付銘板設置について。

・ 事業報告書(あゆみ)の提出進捗状況について

クラブ細則(変更済)については、次年度「これから」に掲載するため「あゆみ」は割愛する。

審議事項

① 前会議録の承認(全員一致で承認)

② 本年度決算見込みについて(全員一致で承認)
本会計、スマイル会計ともに委員会等の協力を得て当初の予算に近い執行ができたため次年度への繰越金も前年並みの見込み。

③ 創立40周年決算見通しについて(全員一致で承認)

記念誌の発行部数を250部に増やし一部予算を組み替えた。ガバナー支援金の一部を加えて特別事業基金に300万円を戻入する。

④ 「職業情報」の更新について(全員一致で承認)

前回作成のものはデータで残っており、追加変更が容易である。2006年1月以降の入会者は新たに作成依頼をし、他の会員で更新を希望するものは変更を更新する。調査

票を次週配布し、ホームページへの記載の有無の意向確認も行うこととする。

⑤ 楠原事務局員の昇給について(全員一致で承認)

定期昇給は現行給与規定通りとする。

⑥ 今年度の監査人について

木村構臣会員に任命する。(全員一致で承認)

⑦ 臨時理事会開催について

7月15日(木) 12時決算承認の件(会長不在の為、中田副会長が議長となる。)

次回開催日 7月15日(木) 12時 3階例会場前

■ 新会員卓話



浜田 広 会員

入会早々御指導、御鞭撻頂いたことが既に三つあります。仕事柄木材関連のお話でもさせて頂こうかと思っていまし

たところ、ある会員の方と「平城遷都千参百年。」の記念事業として復元した「大極殿」の36本の太い柱の話題になりました。「あの様な太い桧は日本にはありませんから、台湾桧でしょうヨ」と申し上げたところ、「ありゃ全部国産材ヨ、一本三億円近いので、柱だけで百億円ですよ。」とのこと、何度か建築中も見学にいかれたとのことで、二度ビックリしました。これはヘタに、木材の話など出来ないわと、少しガッカリでした。二つめは、入会と同時に頂いたゴルフ同好会、右も左も分からずとにかく参加させて頂いた初めてのコンペで、同組の人がホールインワンをされました。それよりも驚いたことに、その方、三度目とかで、全く落ち着いておられ、その後のプレーも全く普段通りで、私の方が舞い上がってしまいました。三つ目は、先日久し振りに出席した広島経済同友会の幹事会での出来ごとです。当クラブのメンバーの方が、あらかじめ諒解は得られてはおられたのですが、各委員長さんの報告とは別に、「この場での発言としてはいかがなものかとは思いますが。」と一応断わられてではあるの

ですが、広島西飛行場の問題を突然話し出されました。今のままの流れで行くと、全く行政サイドの発想だけで、単なるヘリポートになってしまうが、市民として、経済人として、将来滑走路が短くても飛ばすことの出来る飛行機の運航が出来る様な機能は残す様な議論だけはすべきではないのだろうか。三菱重工の国産機製造の誘致をトップセールスでしている県もあるやに聞いているが、我が県、市等にも働きかけても良いのではないか。といった様な主旨の御発言でした。論理明快な為か、出席された方々も素直に聞いておられる様に見受けました。ちなみに出席人数を数えましたら90人弱でした。最近、特に流れに流れっぱなしの私としては、ヘーといった感じでした。入会させて頂いて三カ月、以上の様なことがこれからも度々あるのかと思うと……。以上です。ありがとうございました。御座居ました。

~~~~~



## 松岡 輝明 会員

皆様、こんにちは。新入会員の松岡輝明と申します。

さて、最初の自己紹介の時にもお話いたしました。私は昭和44年8月5日生の本年41才になります。幸いにも、実年齢と見た目にギャップがあるせいか、「見た目よりは」しっかりしているとの印象をいただくことが多く、仕事で営業するときなどは大変助かっておりました。

その仕事の内容ですが、株式会社 山城屋という海苔屋を生業としております。創業は昭和3年で、今年で82年目を迎えることができました。当時、母方の祖父が中区の榎町で創業し、昭和10年頃に堺町へ移転、そのまま昭和20年の終戦を迎え、再び商いを再開できたのが昭和26年、中区の舟入本町の地でした。そして舟入本町から現在の西区観音本町へと社屋を移転したのが昭和58年でした。その後今日に至っております。また、よく聞かれる社名の由来ですが、「山城屋」の屋号はのれん分けという形でいただいたもので、大阪の調味料

メーカー「イカリソース株式会社」の前進である「山城屋輸出食品株式会社」に由来していると聞いております。

一口に「海苔屋」と申しまして、実は、海苔屋は3つの業種に分類できます。

一つ目は、実際に海上で海苔を養殖し、摘採し、皆様良くご存知の、四角いかたちに成型する、「生産」業者。そしてこの生産された乾海苔を各県の漁連を通じて入札という形で仕入れる、もしくはその仕入れた海苔を全国の海苔屋さんへと小分け卸を行う「問屋」業者。これを海苔の業界では商社と申します。そして、商社で分けてもらった乾海苔を、焼いたり、味を付けたり、切ったりして製品にしていくのが「加工」業者です。手前どもはこの「加工屋」でございます。

当たり前かもしれませんが、「海苔」をご存知ないという方はいらっしゃると思いますし、「食べたことがない」という方にも、私自身お会いしたことがありません。そのくらいポピュラーで日本人の食生活の一部になってしまっている食材であるといってしまうのもいいのかもしれない。

こうした海苔の世界にあって、今、広島業界が全国から少し注目を浴びております。と申しますのも、県内の次世代の海苔業者で構成している青年部があり、通称「広島青苔会」といい、海苔にまつわる様々な啓蒙活動を行っているからです。

突然ですが皆様、2月6日が何の日かご存知でしょうか？

2月6日は、実は「海苔の日」なのです。なぜ、2月の6日なのか？これは「ノリ」というものがどのくらい前から食されていたかということ、ノリ生産者団体が歴史文献を中心にさかのぼって調べたところ、日本最初の律令である「大宝律令」の中に「ノリ」を税の一部として献上したという記述があり、このことから、この「大宝律令」が施行された701年1月1日という日付を西暦に直すと「702年2月6日」となるため、この「2月6日」を「海苔の日」として定めたのです。

もともとこの海苔の日は「全国の海苔漁民の総意」として制定されたものですが、広島青苔会で

は「せっかく海苔の日という日があるのだから、何かやろう。」という若者特有の「勢い」だけで海苔の販促、啓蒙活動を始めました。現在はこの「2月6日は海苔の日」であるということをしてPRしつつ、地元広島への利益還元を謳って行うチャリティーセールを行い、毎年多くの方にご来場いただき、ご支持をいただいております。

また、昨今の「食育」の観点から、小学校や、公民館などへ出向いていき、児童を対称にした、海苔に関する基礎知識やのりの手漉き体験などを行う、「出前講座」を開催しております。

この講座を行うに当たっていろいろ調べてみると、広島と海苔の興味深い関係もわかってきました。

ここにいらっしゃる皆様は、かつて、広島湾で海苔の養殖を行っていたことはご存知のことだと思います。実は広島での海苔養殖業は江戸時代までさかのぼることができ、日本で2番目に海苔養殖を始めた場所であることもわかりました。明治時代には日本一の水揚げを誇った時期もあり、昭和30年頃までは大変活気のある地場産業であったようです。

しかし、養殖と申しまして、昭和30年代後半に現在の養殖技術が確立するまでは、水揚げ量は、ほぼ「運」まかせのギャンブル的な要素も強く、大変な苦労があったということを聞いております。

ただ残念ながら、現在広島県内での海苔養殖は福山方面でわずかに行っているだけで、全国シェアの1%程度です。だからこそ、広島の実業界の青年部では、様々な活動を通して広島における海苔の存在をPRしていくことに意義を見出し、広島と海苔の関係を、後世に伝えていきたいと考えているのです。

これからのこうした業界での活動にも、広島西ロータリークラブでの経験は私に取りまして、大変貴重な経験となっていくものと確信いたしております。

どうぞ、これからも、あたたかなご指導ご鞭撻をいただきますようお願い致しまして、私の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

## ■ロータリー情報

### クラブ・バナーの交換

多くのロータリー・クラブの多彩な伝統の一つに、小さなバナー、旗、あるいはペナントの交換があります。ロータリアンが遠くの地方に旅し、各地で欠席をメイクアップするとき、友愛の印として交換するためのバナーを持参します。多くのクラブは、受け取った色とりどりのバナーを、クラブ例会や地区の行事での展示に飾るために使用します。

1959年、RI理事会は、こうしたバナー交換の人気の高まりを認識し、バナーのデザインをクラブの地元地域社会や国を明確にかつ豊かに表現するものとするよう、参加クラブに奨励しました。バナーにはそのクラブの領域を示すような絵やスローガン、デザインを含めることが推奨されています。

多くの訪問者がメイクアップに訪れ、バナー交換を希望する人気のある地域では特に、こうした交換によって財政的な負担がかかるクラブもあることを理事会は認識していました。あらゆる場面で、クラブはバナーの交換には良識を働かせて節度を守り、こうした財政的な負担のためにクラブ本来の奉仕活動に支障をきたさないよう、注意を払う必要があります。

バナーの交換はたいへん楽しい習慣です。特に、その地域社会の自慢の種について興味深く物語っているような独創的で芸術的なバナーであれば、なおさらです。バナーの交換は私たちの国際的な交友を示すシンボルとしての役割も果たしているのです。

クリフォード L. ダクターマン著  
「ロータリーのいろは」より抜粋

